

# 保育料・学校給食を完全無償化！ 子育て支援策を拡充します！



令和6年度

## 施政要旨

### はじめに

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は、昨年12月に2050年までの地域別の推計人口を公表しました。全国の人口は、2020年の国勢調査の人口と比較し17%の減、大石田町においては、6,577人だった人口が、2050年には、53・1%減の3,082人になると推計されています。政府では、日本社会の最大の戦略課題は「人口減少問題」であり、第一に前例のない規模で子ども・子育て政策の抜本的な強化を図るとしております。当町においても、少子化は最大の課題として捉え、「次世代へ虹をかける」を合言葉に子育て支援の拡充、少子化対策に尽力してまいります。

昨年の夏は記録的な猛暑となったこともあり、大雨による水害は発生しませんでした。しかしながら、異常気象が続く昨今、以前とは雨の降り方が変化し、激甚化した豪雨災害が頻発して発生するようになり、いつ令和2年のような水害が発生してもおかしくない状況にあります。現在、国は県、市町村等と連携しながら「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を進めており、当町においては堤防整備等が計画されており、安心して暮らせるまちづくりのために、町民の皆様の声を聴き、国と連携して事業に取り組んでまいります。

### 各分野の施策概要

#### 納税対策事業

○スマホ収納等のキャッシュレス決済の拡充を図るなど、納税環境の整備に努めるとともに、スマホを利用した申告の推進等、納税のデジタル化に取り組んでまいります。

#### 地域活性化事業

○小型除雪機購入補助制度を拡充し、さらなる雪対策を実施してまいります。

○高齢者世帯の住宅の状況をまとめたカルテを作成し、関係団体等と情報を共有し、安全で的確な除雪支援体制の構築に取り組んでまいります。

#### 保健・福祉関係事業

○第3期目となる「大石田町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、保育料の完全無償化や入学準備金等の拡充、新たに保険適用外の不妊治療費の助成を行い、子育て世代を支援してまいります。

○「第9期介護保険事業計画」に基づき、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進を求めた総合的な高齢者対策を進めてまいります。

#### 安全安心のまちづくり事業

○消防機材等を更新整備し、消防力の維持と向上に努めます。

○免許自主返納高齢者への支援を継続します。

○交通事故を防止するため、関係機関と緊密に連携し、交通安全意識の普及啓発に努めます。

○レインボー作戦を継続して今後も「元気なあいさつあふれるまちづくり」を目指します。

#### 教育文化振興事業

○統合小学校整備に向けて、学園づくり委員会などや専門部会を中心に検討し、適時住民説明会でご意見を伺いながら、実施設計を進めてまいります。

○部活動地域移行検討委員会を組織し、国や県などの動向を注視しながら中学校の部活動の在り方について検討してまいります。

○給食費の完全無償化を実施し、保護者の経済負担の軽減を図ります。

○町民一人1スポーツ・1芸術を継続した柱として、多様で価値の高い学びの機会に努めます。

○地域学校協働本部を中心として、子どもたちが自然体験や様々なスポーツ・文化活動ができるよう取り組んでまいります。

サイクル促進を図ってまいります。

○クリーン・アップ大石田を通して、身近な環境の美化とともに公衆衛生規範を醸成し、持続可能な循環型社会の形成に努めます。

○ごみ収集日や分別の周知を徹底し、マナー向上に努めます。

#### 建設関係事業

○安全で安心な道路空間確保のため、町道を計画的に整備します。

○冬期間の安全な道路交通を確保するため、行政と住民の総力を結集して道路除雪にあたります。

○流雪溝整備は克雪対策事業の最も重要な事業の一つと位置づけ、引き続き鷹巣地内の整備を実施してまいります。また、未整備地区の流雪溝整備に向けて関係機関との連携を強化します。

#### 最上川緊急治水対策事業

○公共事業用地の取得に伴う代替地登録制度を、引き続き推進してまいります。また、今後、利用する予定のない町有地を活用し、移転対象者に優先的に提供するため、宅地の整備に取り組んでまいります。

○地域住民の声に常に耳を傾けながら、より良い事業として完了できるように、関係機関と協力して取り組んでまいります。

○第3次「健康増進計画 健康おおいしだ21」を策定し、町民の健康づくりの目標を定め、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、その取り組みを関係機関と連携し、総合的に支援してまいります。

#### 農業振興事業

○長引くウクライナ問題の影響を受け、資材・肥料が高騰しておりますので、国や県と歩調を合わせて高騰対策に取り組んでまいります。

○昨年は、猛暑の影響を受け、一等米比率が大きく落ち込みました。地球温暖化は今後も続くことが予想されますので、高温耐性品種の導入なども検討してまいります。

○5年間で一度も水張りをしない転作田への交付金支払対象除外の見直し問題について、県と連携を図りながら交付金支払いの継続に向けて要望してまいります。

○森林所有者に意向調査を実施し、森林譲与税を財源とした森林整備事業を進めてまいります。

#### 商工業振興事業

○町内商工業事業者の経営基盤強化のさらなる指導等を支援するため、町商工会補助金を増額し、町商工会と連携を図りながら商工業の活性化を推進してまいります。

#### 観光物産振興事業

○東北中央自動車道東根〜尾花沢間や国道347号を活用して、仙台圏からの観光客誘致とあわせて、着地型商品開発やPR活動などを推進し、交流人口の拡大に努めます。

○「そばの里」振興のため、新そばまつりなど各種イベント開催への支援を通じて観光振興を図ります。

○リニューアルした大石田駅都市施設を中心とする駅周辺において、町商工会と連携して旅行者に対するおもてなしを充実してまいります。

○「大石田まつり最上川花火大会」を開催し、地域経済の活性化と観光客の誘致を図ります。

#### 生活環境保全事業

○令和5年度は、ペットボトル水平リサイクル事業に関する協定や新たな廃食油リサイクル事業に関する協定を締結しました。今後も、資源のり